

あい、風通信 22号

応援します、生涯学習 — ふえる知識と仲間の輪

学びのスタンプ通算 29号



後期主催講座のご案内

～これから参加できる後期講座は時宜にふさわしいテーマが目白押しです。多数ご参加ください。～

講座 11. 「石狩の子育てを考える」～子育て支援ネットワークの広がりこれから～ (10/11 藤女子大)

藤女子大との共催講座で学園祭「藤花祭」の初日に藤女子大で行われ、参加費は無料で事前申込のない方も当日受講が可能です。少子高齢化のますます進む石狩市では子育て支援が喫緊の課題なので、石狩市の特徴を生かした子育て支援の形を皆さんで考え、これからの少子化対策と子育て支援の具体策などを学びます。

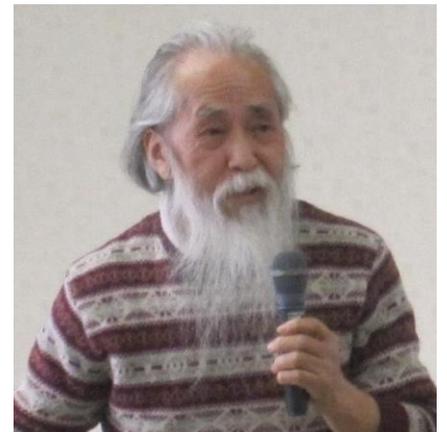
講座 12. 「宗教がわかると人間と世界がわかる」 (10/23、10/30、11/6 北コミセン)

日本では宗教が公教育で扱われず、その基本的認識や考え方が養われないまま成人し、学力優秀でもカルト集団に入り犯罪を重ねる人や、崇りや地獄に落ちると脅され悲惨な目に遭う人もいます。今回は特定宗教にこだわらず、諸宗教を客観的に比較観察する宗教学の立場から、宗教の基本的な姿を総合的に学びます。

講座 13. 藤村久和さんが語る「アイヌの生活と文化」

(11/13、11/27、12/4 北コミセン)

最近、白老に「民族共生の象徴空間」の建設が計画され、アイヌ語を広告やキャッチコピーに使うなど、表面的には関心が高まっているように見えますが、先住民族としてのアイヌという理解は十分ではありません。今回の講座ではアイヌ学第一人者の講師に、映像を見ながらさらに具体的に語っていただき、アイヌの生活・文化・歴史の理解を深め学びます。



講座 14. 「憲法って何？～いま、日本国憲法を読んでみませんか」 (12/5、12/12 北コミセン)

最近わが国では、にわかに憲法改正論議が活発になっています。日本国憲法は、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重を基本原理とし、立憲主義を貫く世界でも数少ない憲法として注目されています。

講座では日本国憲法の成立経緯や特色、現在の課題などについて学び、なぜ、いま憲法改正が必要なのか、改憲や護憲を主張する人びとの相違点、改憲による問題点などを考えます。

講座 15. これからの教育の動向 ～教育の機会保障の歴史を通して考える～

(1/20、1/27 北コミセン)

国際化、情報化、少子高齢化、科学技術の発展、経済構造の変化など社会の大きな変化がみられる今日、新しい教育の在り方が問われています。文部科学省の諮問機関をはじめ各種審議会の報告や提言から、これからの日本の教育について考えます。

市民カレッジデータ

(9月24日現在)

○登録者～166人

○協力団体～102団体



○ゴ制作者

丸山英里子さん

後期 まちの先生企画講座の紹介

講座3 「ハーブでほっと一息♪」

自然の有用植物(ハーブ)を使って、日々の健康づくりに役立てましょう。ハーブの効果・効能を知ることによりお子様からご家族の体調管理や美容まで、無理なく安心して使用することができます。内からも外からも健やかに♪

日 程	第1回	ハーブ石鹸つくりとアロマ・ハンドマッサージ	平成27年1月27日(火)
	第2回	自分で作るシンプル化粧水とリップクリーム	平成27年2月 3日(火)
	第3回	ローズヒップマフィンを作ってハーブティを楽しもう	平成27年2月10日(火)
時 間	各回共	10:30~12:00	北コミセン

講座4 「地図の世界は無限大」

地図には詩があり、ロマンがあり、夢がある。多少とも創造力のある人には、菓子店の包装紙に書かれた稚拙な地図も、難しそうな国土地理院の地形図も、豊かな詩やメルヘンを誘い出し、歴史や科学への夢をいざなってくれる創造の源泉である。講座では外国や日本の様々な地図を実際に手にとり眺め、地図のロマンや魅力を語り合います。

日 程	第1回	ところ変われば地図変わる	平成27年1月19日(月)
	第2回	まちの歴史は地図に聞け	平成27年1月26日(月)
	第3回	伊能忠敬蝦夷地を歩く	平成27年2月 2日(月)
時 間	各回共	10:30~12:00	石狩市公民館

平成26年度前期講座をふり返って

平成26年度前期は、8月末までに主催講座を8講座19回、まちの先生企画講座を2講座4回開催しました(まちの先生講座2は1回のみ終了)。

主催講座は、19回で1,062人(1回平均55人)と大変多くの方々に受講して頂きました。会場まで足を運んで頂いたみなさまには、改めてお礼を申し上げます。

個々の講座についてふり返ってみますと、講座1「ネルソン・マンデラが夢見たアフリカ大陸」講座2「知られざる隣国、ロシアとのかかわり」講座6「不思議いっぱい!石狩川河口」は、これまで扱っていなかったテーマを取り上げたことが受講者を惹きつけたのではないかと思います。特に年度初めの講座1では、講師・宮司正毅さんの熱い語りがネルソン・マンデラの思想への共感を呼びました。講座3「田中實さんが語る〜とおきの話〜」と講座5「村山耀一さんと歩く石狩歴史散歩」は、従来から引き続いた講師による講座ですが、話題や語り口に新工夫があり、受講者を飽きさせるどころかさらに魅力が増した感がありました。

講座4「記者が語る原子力取材の現場」講座8「石狩湾新港の最先端技術を学ぶ」は、時宜に叶ったテーマに関心が集まったと思われます。今年、石狩湾新港開港20周年であり、その意味でも講座8は記念すべき講座となりました。

講座7「さっぽろアート散歩」は、1回目で詳しい解説を聞いてから2回目で開催中の展覧会を見るという新企画が新鮮だったのではないかと思います。

このように、平成26年度前期主催講座は、バラエティーに富んだ講座構成だったこと、それぞれの特徴を適確にアピールできたこと、などの理由により高い支持を得たのではないかと思います。

まちの先生企画講座は、4回で83人が受講されました。まちの先生講座1「実践パソコン!」は、自分のノートパソコンを持ちこんで受講したので、操作もしやすく好評でした。ただ、さらに続けて学びたいという方が多く、その要求に応えるにはどうしたら良いか、今後の課題も残りました。

まちの先生講座2「今日から始める片付け講座」は、1回目が終了したところですが、講師と受講者が会話をしながら行われて、まちの先生ならではの講座でした。

以上のとおり、平成26年度前期については、受講者も多く市民カレッジ運営委員にとって嬉しいかぎりでしたが、1頁でご紹介したように後期も魅力ある講座が目白押しです。後期も是非、前期に劣らぬ受講をお願い致します。

第6回連絡協議会開催

6月25日(水)、石狩市公民館で第6回連絡協議会(連携団体11団体、市民カレッジ運営委員11名が参加)が開催され、魅力ある講座を企画するには、など4つのテーマについて5つのグループに分かれて討議しました。その結果、ニーズにあった講座企画や効果的なPR方法など、どの団体にも共通した課題が多いことが分かりました。また市広報の講座紹介頁拡張を望む声もありました。

さらに、連携団体と市民カレッジとの関わりについて再確認したいとの要望がありましたので、以下に要約いたします。

◆市民カレッジが連携団体にお願ひすること

①「学びの記録手帳」への「学びのスタンプ」の押印

スタンプは、公民館、学び交流センター、りんくる、花川北コミセン、花川南コミセン、市民図書館、砂丘の風資料館、海浜植物保護センターで保管。登録すれば、団体印でも可

②前、後期の前に予定講座情報の提供

前期(4月～9月)後期(10月～3月)ごとの講座一覧の作成のため

③団体情報などの協力提供

各団体間の連携や他団体への講師依頼などの場合

◆市民カレッジが協力できること

①連絡協議会(年1回)の開催による市民の生涯学習向上を目指した協議

②「あい風通信～お知らせ版」による市民への講座情報提供

掲載は市民カレッジの基準(特定の宗教、政治団体や営利に関わらないなど)で判断

③あい風通信による市民への連携団体情報の提供

④連携講座のPRを支援

⑤他団体との連携、講師依頼などの仲立ち

講師の声

主催講座6「不思議いっぱい!石狩川河口」

大きなプレッシャーがありましたが、受講していただいた皆さんからお力をいただき、楽しく話を終えることができとても嬉しく思っています。ありがとうございます。なお、いしかりガイドボランティアの会では、引き続き新会員募集中です。また、個人的にホームページ【花畔・網】を公開し、石狩に関わるあれこれを盛りだくさんに発信し続けています。ぜひご来網を!

→ <http://www.bannaguro.net/>

いしかりガイドボランティアの会 石川 治さん



～第11回修了証授与式の速報～

9月30日(火)12時30分から第11回(通算第14回)修了証授与式を市役所ロビーで行いました。受証者は16名(ブロンズ3名、シルバー2名、ゴールド3名、スーパーゴールド3名、ダイヤモンド4名、スーパーダイヤモンド1名)で学長の田岡市長から一人ひとりに終了証が手渡されました。その後、懇談会を行い和気あいあい楽しく終えることができました。

■ 発行

いしかり市民カレッジ運営委員会

編集担当: 勝木、石井、粕谷、三上

■ お問い合わせ 石狩市公民館

石狩市花川北6条1丁目42

TEL: 0133-74-2249 FAX: 0133-74-2249

E-mail: kouminkan@city.ishikari.hokkaido.jp

HPアドレス: <http://www.ishikari-c-college.com/>